

4コートバレー

《ルール・審判マニュアル》



平成30年10月 制定

柏崎市スポーツ推進委員協議会

4 コートバレーとは

コートを4つに分けて行う4人制のバレーボール。

ボールはソフトバレーボールを使用する。

1. コート・用具

1-1 用具

用具名	数量
バレーボール（6人制）コート	1面
バレーボール（6人制）用支柱（ネット高は2m）	2本
バレーボール（6人制）用ネット	1枚
バレーボール（6人制）アンテナ	2本
ソフトバレー用移動式支柱（ネット高は2m）	2本
ソフトバレー用ネット	2本
ソフトバレー用アンテナ（マジックテープ固定タイプ）	2本
得点板	4チーム分
審判台	1台
ラインテープ	72m分
メジャー（15m以上）	1個

- ・センターラインは必ず表示すること。

プレー道具

用具名	数量
ソフトバレー	2個～
空気入れ	1個
ボールゲージ	1台
ビブス（カラーA）	5枚～
ビブス（カラーB）	5枚～
ビブス（カラーC）	5枚～
ビブス（カラーD）	5枚～

※ビブスの種類について（得点板用に1枚使うと便利）

- ①コートに備え付ける：4種×（4人+得点用1）
- ②チームに貸出：チーム数×（メンバー数+得点板用）

【審判時の必要人数】 ※参考

審判 主審1人 副審3人

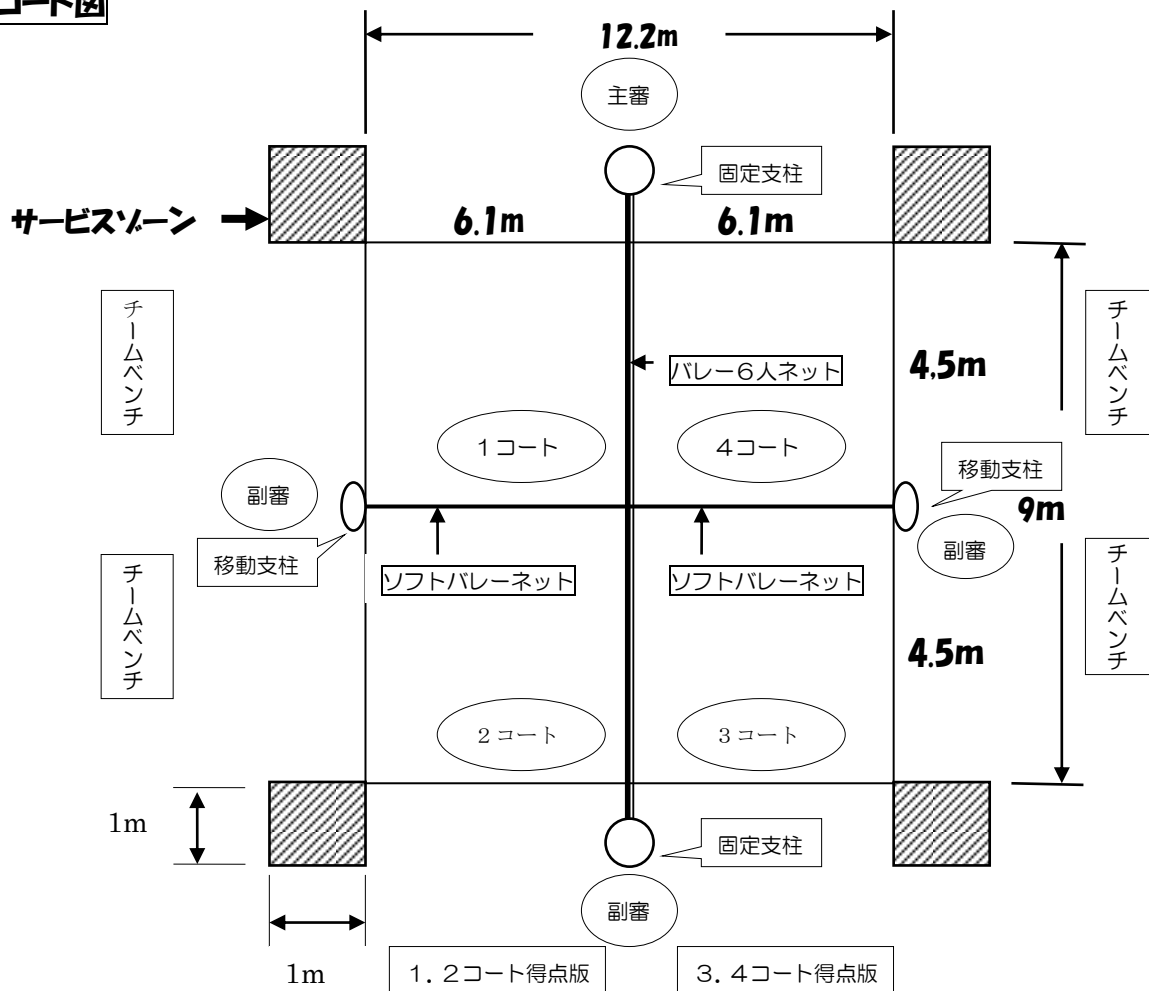
得点係 4人 ※2人だと忙しい。

1-2 コート説明

- ① 12.2m×9m（1区画あたり6.1m×4.5m）とする。
各辺両端1mずつ延長しサービスゾーンとする。
※バレーボール（6人制）コートを使用。
※4分割にするためにソフトバレー用ネット6.1mを使用する。
- ② ネットの高さは2.0mとする。
- ③ アンテナは、ネットの上端から1m上方に出るように、1本ずつ各支柱の外側又は、ライン外側になるよう取り付ける。
- ④ 6人制のコートを使用するため、固定支柱に6人制バレーネットを使用しそのネットから移動式支柱の2本へソフトバレーボールネットを使用して4コートを作る。
- ⑤ サービスゾーンは1m×1mとする。

【コートの広さ及び審判の配置】

コート図



2. 試合前準備

【チーム編成】

- ① 1チーム4人以上で構成する。
- ② コート内の競技者は4名で、4×4でプレーする。
- ③ 男女構成及び年齢は自由とする。

3. 競技方法

3-1 競技説明

① コート選択

試合前に 4 チームのキャプテンがジャンケンを行い、勝ったチームからコートかサーブ権のいずれかを選ぶ。

② 得点

ラリーポイント制としミスしたチーム以外が 1 点を得る。

③ ローテーション

ミスしたチームが時計回りにローテーションする。

④ ポジション

前衛、後衛の概念は関係なく、全員がアタック及びブロックができる。

⑤ 勝敗

事前に取り決めた点数に達したら試合終了とする。※デュースは無い

⑥ サーブ

最初のサーブはコート選択時にサーブを得たチームが行い、以降はミスしたチームがサーブを行う。

自陣のサービスゾーンからアンダーサーブで行う。(どのチームを狙っても良い)

サーブが直接ネット(すべてのネット)に触れた場合は、サーブアウト(サーブしたチーム以外に 1 点)とする。

※サーブをしたチームがミスをする、ローテーションによりサーブを打つ選手が変わります。

⑦ サーブレシーブ(ソフトバレーボールのルールと同様)

サーブをネットより上の位置でレシーブした場合 1 回での返球はできない。

※サーブをブロックしたことと同じ扱いとする。

※1 回で返球しなければ、レシーブ位置は自由。

⑧ サイドライン

ネット上部から来たボールについて、そのコートの四方のラインはすべてサイドラインと同様の扱いとする。※ネット上部を通過後にネット下部を通過した場合(誰も触れていない)はサイドアウトとなる。

⑨ センターライン

ネットの下ラインは常時センターラインを兼ねる。

※ラインの踏み越しは、反則とする。(パッシング・ザ・センターライン)

⑩ ネット下部を通過後にプレーヤーに触れた場合

ネット下部通過後に相手のプレーヤーの体に触れた場合は、通過させたプレーヤーのチームがアウト(サイドアウトと同じ扱い)とする。

※通過先のプレーヤーは、通過してきそうなボールに積極的にあたりに行っても差し支えないが、相手コートに入ってはいけない。この場合に限り、ラインを踏んだ場合は自分たちの失点となる(パッシング・ザ・センターラインの取扱いと異なる)

⑪ ボールがネットに触れた場合(サーブ時除く)

ボールがネットに触れても最終接触者は変わらない。

《上記以外のルールはソフトバレーボールのルールに準ずる》

3-2 試合の流れ

《試合前》

- ①主審副審でネット等のチェックをおこなう。
- ②主審は4チームのキャプテンをコートのセンターへ集めてトス（ジャンケン）でサービス権かコートを選ぶ。
- ③主審は公式ウォームアップ開始を吹笛する。（公式ウォームアップは合同3分以内とする。）
副審は、公式ウォームアップの終了を吹笛する。
- ④主審は、各チームのプレーヤー全員をチームベンチ前のサイドライン上に導く
4チームが整列したら、挨拶（握手）を交わすよう吹笛する。
- ⑤主審は、吹笛でプレーヤーをコート内に導く。副審、得点員の位置を確認し、サービス許可の吹笛する。

《試合中》

セット間

- ①セット終了後、各チームのキャプテンを集めトス（ジャンケン）を行い、サービス権とコートを決める。
- ②副審は、2分経過後、各チームをコートにいれるよう吹笛する。

《試合終了後》

- ①主審は、各チームのプレーヤー全員をチームベンチ前のサイドライン上に整列させる。
- ②主審は、審判台を降り、吹笛で各チームに挨拶（握手）をさせる。